

# 情報環境部会における大学参照モデル活用の現状と課題

梶田 将司<sup>1)</sup>, 八重樫 理人<sup>2)</sup>, 岡部 寿男<sup>3)</sup>

1) 名古屋大学 1) 香川大学 3) 京都大学

kajita@nagoya-u.jp

## Current Status and Challenges on Higher Education Reference Model at AXIES EA-SIG

Shoji Kajita<sup>1)</sup>, Rihito Yaegashi<sup>2)</sup>, Yasuo Okabe<sup>3)</sup>

1) Nagoya University 2) Kagawa University 3) Kyoto University

### 概要

大学経営マネジメントとしての情報環境のガバナンスおよび実際の情報環境の整備に貢献することを目的に、エンタープライズ・アーキテクチャ (Enterprise Architecture) のライフサイクルマネジメント手法を援用した大学情報環境の設計・実装・運用に関する実践知の共有を行う新しい部会「情報環境部会 (SIG-EA)」が設置された。本企画セッションでは、EDUCAUSE 2024 で行った高等教育参照モデル (Higher Education Reference Model) に関する海外大学との連携を踏まえ、今後の活動の可能性についてパネル討論を行う。

### 1 本部会の背景

クラウドコンピューティングの進展は、ICT 環境を「所有から利用へ」と大きくシフトさせ、サーバは Amazon AWS や Microsoft Azure 等の IaaS 型クラウドへ、メールや遠隔会議等のコラボレーションやコミュニケーションツールは Google Workspace や Microsoft 365, Zoom 等の SaaS 型クラウドへ、端末は利用者がノート PC やタブレット、スマートフォン等を持参する BYOD へと大きくシフトしている。このようなテクノロジーのトレンドの中で迎えたコロナ禍では、教育・研究活動でのデジタル技術の全学的かつ全面的な利活用が求められ、情報環境整備は大学経営の重要なアジェンダとなった。しかしながら、国立大学を取り巻く厳しい予算削減・人員削減が続く中、情報環境整備に必要な学内リソースは先細りしていく一方で、クラウド化や BYOD 化の進展は、ICT マネジメントの対象範囲がクラウド側・ユーザ側双方において多様化し、情報環境整備の課題をさらに複雑化している。

このような状況は、大学のみならず、民間企業や政府系組織等、すべての組織において共通する課題であり、組織におけるデジタル技術の活用による新たなビジネス価値創造である DX も、業界や組織規模、民間・公的、営利・非営利等、組織の如何に関わらず求められている。世界では、OSF と X/Open が

合併し UNIX の標準化 NPO として 1995 年に誕生した Open Group において、米国国防省国防情報システム局が内部の情報システムのオープン化を実現するためにベンダーとともに取り組んできた Enterprise Architecture (EA) 開発手法である TOGAF (The Open Group Architecture Framework) が、民間企業を中心にデファクトスタンダードになりつつある（我が国では、NTT グループや株式会社富士通で大規模な社内活用が進んでいる）。

### 2 本部会の設置理由と主な活動

大学という比較的共通性が高い公的機関を対象に EA 実践のためのプラットフォームとして新たに情報環境部会を設置する。これにより、TOGAF のような EA フレームワークやその組織的な活用について実践知を産学連携により共有するとともに、姉妹組織である米国 EDUCAUSE Enterprise, Business, and Technical Architects (ITANA) Community Group や豪州・NZ CAUDIT Higher Education Reference Models Working Group, 英国 UCISA Enterprise Architecture Special Interest Group, 欧州 EUNIS Enterprise Architecture Special Interest Group が連携して開発を進めている HERM の活動に参加し、その開発や活用実践知の共有を行う。これらの活動を通じて、大学経営マネジメントとしての情報環境のガバナンス、および、実際の情報環境の整備に貢献する。

EDUCAUSE 2024 *Global Perspectives on the Higher Education Reference Models*

Shoji Kajita, Information Technology Center Professor, Nagoya University; Henry Pruitt, Senior Enterprise Architect, New York University; Israel Wong, Manager, IT Architecture, Langara College; Lucy Gill, Lead Applications Architect, Humber Institute of Technology & Advanced Learning.

With contributions from Dana Miller, Business Architect, University of Texas at Arlington; Jeff Kennedy, Enterprise Architecture Manager, The University of Auckland





**HERM**  
CAUDIT  
EDUCAUSE



ucsd  
EUNIS



Join Us to Make Higher Education Better

Using the Higher Education Reference Models

and Help Save the World!



**HUMBER**  
POLYTECHNIC



**Itana**  
INSTITUTO TECNOLÓGICO DE AERONÁUTICA



**名古屋大学**  
NAGOYA UNIVERSITY



**UTA**  
UNIVERSITY OF TEXAS AT AUSTIN



**NYU**  
NEW YORK UNIVERSITY



**Langara.**  
THE COLLEGE OF HIGHER LEARNING